

東京外国語大学
科学研究費補助金新学術領域「グローバル関係学」
特任研究員（PD）募集要項

平成 28 年度よりスタートした科研費新学術領域「グローバル関係学」プロジェクトのなかの「国家と制度」研究計画では、社会科学分野において、自らの専門性を活かしながら、本プロジェクトの研究活動の目的と内容を的確に把握したうえで主体的に研究業務を行い、その成果発信を通じた学問的活動に貢献する意欲のある方を募集します。

「グローバル関係学」プロジェクト「国家と制度」研究計画の概要についてはウェブサイト (<http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/matsunaga/project2.htm>) をご覧ください。

1. 応募資格

以下の条件をいずれも満たす方とします。

- (1) 社会科学的研究に関する専門的知識を有する方。
 - (2) 本プロジェクトの研究活動の目的と内容を的確に把握し、その成果発信を通じた学問的活動に貢献する意欲のある方。
 - (3) 博士の学位を有するか、採用日までに博士学位取得見込みの方。
 - (4) 採用時に常勤の職に就いていない方。
 - (5) 本研究員としての用務に（エフォート率 100 % で）専念できる方。
- ＊(独)日本学術振興会の特別研究員や他の科研費の代表者、分担者との兼任はできません。

2. 勤務条件

- (1) 本学特定有期雇用就業規則及び給与規程に定めるところによります。
- (2) 勤務時間は週 38 時間 45 分（裁量労働制 1 日 7 時間 45 分みなし労働）
- (3) 給与は月 25 ～ 30 万円前後支給されます（経歴等により増減あり）。通勤手当は支給されます。賞与、扶養手当、住居手当、赴任手当、退職手当等は支給されません。雇用保険・社会保険の適用あり。給与とは別に用途に応じ出張旅費等の研究費が割り当てられることがあります。
- (4) 雇用期間は 2019 年 5 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで（一度に限り、また 2021 年 3 月 31 日を最終期限とする雇用期間での更新の可能性あり）。
- (5) 採用の日から 6 ヶ月間は試用期間となります。

3. 職務内容

- (1) 新学術領域としての「グローバル関係学」の確立を目指す本プロジェクトに理論面あるいは実証研究の側面から貢献しうる研究に従事すること。
- (2) 本科研費プロジェクトの成果の一部として公刊予定である「グローバル関係学」叢書シリーズにむけた論文執筆を行うこと。

4. 募集人数 1 名

5. 提出手続

提出書類は、下記「11. 問い合わせ先」まで書留郵便または宅配便で送付してください（持込不可）。締切日は、2019年3月25日（月）消印有効とします。

なお、封筒に『グローバル関係学特任研究員 応募書類在中』と朱書きしてください。

6. 選考方法

第1次審査として書類審査を行い、第1次審査合格者を対象に面接（面接は3月下旬に実施の予定。面接の際の交通費は本人負担とします）

7. 選考結果通知 2019年4月初旬（予定）

8. 採用予定年月日 2019年5月1日

9. 提出書類

- (1) 履歴書（市販横書き用紙に準じるもの、写真貼付）
- (2) 主要研究業績一覧
- (3) 主要論文等3点以内（コピー可。返却希望者は返信用封筒に住所・氏名を記入し、切手を貼付してください。宅配便での返却は封筒に料金着払い（本人負担）のラベルを貼って同封ください。）
- (4) 研究経歴書（フィールドワークの経歴も含めた研究経歴、および学会報告や研究会・ワークショップ・シンポジウムに参画した経歴について、合計1200字程度で書いてください）
- (5) 研究計画書（本プロジェクトにおける自らの研究内容について、2400字程度で書いてください）
- (6) 参考意見をお聞きできる方の氏名と連絡先（2名以内）
- (7) 返信用定型封筒（応募者の住所・氏名を記載のうえ82円切手を貼付）

10. その他

既存の研究プロジェクト等への関与の理由等で、本研究員としての用務に（エフォート率100%で）専念できないため、常勤ではなく非常勤研究員としての勤務を希望される場合には、ご相談ください。但し、その場合でも(独)日本学術振興会の特別研究員との兼任はできません。

11. 問い合わせ先

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

東京外国語大学 学務部研究院事務課

（質問については、必ず文書又はe-mail でお願ひします。電話によるお問い合わせにはお応えできません）

e-mail: tn0319@tufs.ac.jp